

# 事業報告書

自 令和 3年 4月 1日

至 令和 4年 3月 31日

一般社団法人 北海道ビルディング協会

## 概 況

令和3年度は、新型コロナウイルスの感染者数が増減を繰り返すなか、緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が発出され、社会経済活動に大きな影響があった。また2月には、ロシアがウクライナへ軍事侵攻し、現在も悲惨な戦争が続いている。世界経済は強い不透明感に覆われ、日本経済にも深刻な影響を与えることが予想される。

このような状況下、今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のために協会活動が制限された。

1. 6月に連合会第81回定時総会(東京開催)が、昨年に続き、The Okura Tokyoにて開催されたが、「中小の経営を考える集い」、「講演会」、「懇親パーティー」、「懇親ゴルフ会」、「懇親旅行」の付帯行事は、新型コロナ感染症対策の一環からすべて中止となった。
2. 税制改正については、今年度も(一社)日本ビルディング協会連合会を通じ、「商業地に係る固定資産税等の一定期間の税額据置等の緊急措置及び負担調整措置等の延長」、「土地に係る不動産取得税の特例措置の延長」、「コージェネレーション設備に係る固定資産税の特例措置の延長」等を関係省庁に要望した。
3. 会員の経営管理向上に資するため、各委員会が中心となりコロナ禍ではあったが5回の例会を実施し、延べ144名の参加を得た。
4. 3月には『法人企業相乗り型サテライトシェアオフィス事業 NewWork について』をテーマに東急(株)ビル事業運用事業部の NewWork 担当課長永塚慎一氏にお願いし、「第22回実務担当者の会」を計画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止によりリモートによる開催を余儀なくされた。
5. 中小ビル経営研究会は、新型コロナウイルス感染防止のため一度も開催できず会員相互の情報交換、知識向上に貢献できなかった。
6. 組織強化の一環として、次世代を担う若手経営者、経営後継者、実務担当者に当協会が直面する問題や将来の展望を語り合い、意見交換、経験交流をしながら対応方法について検討する場を設けるべく同好会「青年部会」を3回開催した。
7. 会員への情報提供として連合会会誌「びるぢんぐ」の配付のほか、「事務局だより」を毎月1回計12回刊行した。
8. 会員の親睦を図るために、懇親ビール会を企画したが、新型コロナウイルス感染防止のため中止となったが、Webによる賛助会員ビジネス交流会の開催と札幌駐車協会との共催によるゴルフ大会を3回開催できた。

当協会は、今後とも会員ニーズの把握につとめ、より満足いただけるよう創意工夫、不断の研究に励み、会員各位のご理解とご協力を得ながら、充実した業界団体に発展すべく一層の努力を続けたい。